



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月7日

上場会社名 株式会社ミダック 上場取引所 東 名
 コード番号 6564 URL http://www.midac.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 恵子
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 高田 廣明 TEL 053-488-7173
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	1,402	14.3	523	50.6	520	57.9	255	53.4
2020年3月期第1四半期	1,226	△2.6	347	△9.9	329	△15.7	166	△15.8

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 255百万円 (53.4%) 2020年3月期第1四半期 166百万円 (△15.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	19.37	—
2020年3月期第1四半期	13.59	—

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しておりませんので記載しておりません。
 2. 2019年9月14日付で普通株式1株につき普通株式3株の割合で、2020年2月1日付で普通株式1株につき普通株式1.3株の割合で株式分割を行いました。2020年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	11,875	4,569	38.5
2020年3月期	11,919	4,382	36.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 4,569百万円 2020年3月期 4,382百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	2,670	10.1	686	16.1	659	17.1	374	30.4	28.43
通期	5,430	4.2	1,579	5.6	1,527	5.5	846	6.4	64.27

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	13,386,750株	2020年3月期	13,386,750株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	211,070株	2020年3月期	210,110株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	13,176,366株	2020年3月期1Q	12,242,685株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、2020年4月に政府より緊急事態宣言が発出され、外出自粛、休業要請と個人消費が低迷し、日本経済に大きな影響を与えることとなりました。

このような状況におきましても、廃棄物処理業界は、国民生活を維持し経済を支える必要不可欠な社会インフラであり、公衆衛生の観点や医療活動の円滑化のために、新型コロナウイルス感染症に係る廃棄物を適正に処理しつつ、それ以外の廃棄物の処理についても安定的に業務を継続することを求められています。

当社の事業におきましては、多数の処理施設や許可を保有していることにより、幅広い顧客基盤を築き、売上は特定の廃棄物や業種に依存せず、総合廃棄物処理企業として確立しています。そして、新型コロナウイルス感染症に対する感染防止対策を適切に実施することで、社会インフラとしての責任を果たし、同時にさらなる受託量の拡大及び収益性の向上を目指してまいりました。焼却施設等の中間処理施設に関しましては、積極的な営業活動によって稼働率の向上を目指しました。最終処分場に関しましては、受託量の拡大及び単価の高い廃棄物の受注に注力しました。

また、新規管理型最終処分場である奥山の杜クリーンセンターにおきましては、2022年4月以降の稼働に向けて工事の進捗管理を細かに実施しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,402百万円(前年同期比14.3%増)、営業利益は523百万円(同50.6%増)、経常利益は520百万円(同57.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は255百万円(同53.4%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 廃棄物処分手業

新型コロナウイルス感染症の影響で自動車業界等一部の製造業におきましては、産業廃棄物の受託量が減少しましたが、一方で食品業界、医療業界、自治体等からの受託量は増加しました。また連結子会社である株式会社ミダックはまなにおきまして、建設業界からの搬入量が好調に推移したほか、大型の取引により搬入量は前年同期比で増加しました。以上の結果、売上高は1,169百万円(同15.3%増)となり、セグメント利益は602百万円(同35.3%増)となりました。

② 収集運搬事業

一般廃棄物においては、緊急事態宣言の解除後においても飲食業界を中心に十分な売上回復には至らず、当社としても受託量は減少しました。一方、産業廃棄物においては、大型工事案件等の受注があったことにより受託量は好調に推移しました。以上の結果、売上高は191百万円(同10.3%増)となり、セグメント利益は41百万円(同135.2%増)となりました。

③ 仲介管理事業

大型工事案件等によって、協力会社への仲介が好調に推移しました。以上の結果、売上高は41百万円(同6.7%増)となり、セグメント利益は44百万円(同34.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は4,225百万円となり、前連結会計年度末に比べ458百万円減少しました。これは主に、納税等による現金及び預金の減少額455百万円等によるものであります。また、固定資産は7,649百万円となり、前連結会計年度末に比べ413百万円増加しました。これは主に、土地の増加額501百万円等によるものであります。

この結果、総資産は、11,875百万円となり、前連結会計年度末に比べ44百万円減少しました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は4,624百万円となり、前連結会計年度末に比べ101百万円減少しました。これは主に、未払法人税等の減少額189百万円等によるものであります。

また、固定負債は2,680百万円となり、前連結会計年度末に比べ130百万円減少しました。これは主に、長期借入金の減少額126百万円等によるものであります。

この結果、負債合計は、7,305百万円となり、前連結会計年度末に比べ232百万円減少しました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は4,569百万円となり、前連結会計年度末に比べ187百万円増加しました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益255百万円を計上したこと等による利益剰余金の増加額189百万円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月15日付の「2020年3月期 決算短信」にて公表しました連結業績予想から修正はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,756,479	3,301,359
受取手形及び売掛金	612,518	590,126
たな卸資産	49,514	52,875
その他	265,773	281,886
貸倒引当金	△719	△1,080
流動資産合計	4,683,567	4,225,167
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	504,866	497,776
機械装置及び運搬具（純額）	503,432	534,298
最終処分場（純額）	674,489	658,981
土地	1,343,722	1,845,610
建設仮勘定	2,063,941	2,050,965
その他（純額）	38,369	38,534
有形固定資産合計	5,128,822	5,626,166
無形固定資産		
のれん	1,398,231	1,335,625
施設設置権	240,600	230,575
その他	34,238	28,299
無形固定資産合計	1,673,070	1,594,499
投資その他の資産		
その他	437,907	429,182
貸倒引当金	△3,857	—
投資その他の資産合計	434,050	429,182
固定資産合計	7,235,942	7,649,848
資産合計	11,919,510	11,875,015

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	51,599	37,631
短期借入金	3,121,500	3,121,500
1年内償還予定の社債	48,000	48,000
1年内返済予定の長期借入金	547,252	529,753
未払法人税等	364,251	174,381
賞与引当金	74,822	38,452
その他	518,027	674,416
流動負債合計	4,725,453	4,624,134
固定負債		
社債	74,000	67,000
長期借入金	2,012,800	1,885,993
最終処分場維持管理引当金	574,499	584,845
資産除去債務	106,319	106,888
その他	44,240	36,187
固定負債合計	2,811,859	2,680,914
負債合計	7,537,312	7,305,049
純資産の部		
株主資本		
資本金	752,971	752,971
資本剰余金	1,385,576	1,385,576
利益剰余金	2,374,550	2,563,866
自己株式	△130,900	△132,447
株主資本合計	4,382,197	4,569,966
純資産合計	4,382,197	4,569,966
負債純資産合計	11,919,510	11,875,015

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	1,226,852	1,402,411
売上原価	533,084	511,687
売上総利益	693,767	890,724
販売費及び一般管理費	346,450	367,620
営業利益	347,316	523,103
営業外収益		
受取利息	92	88
不動産賃貸料	2,522	3,795
貸倒引当金戻入額	—	3,495
固定資産売却益	2,809	5,070
その他	389	1,126
営業外収益合計	5,814	13,576
営業外費用		
支払利息	11,940	13,507
その他	11,571	2,552
営業外費用合計	23,512	16,059
経常利益	329,619	520,620
税金等調整前四半期純利益	329,619	520,620
法人税等	163,232	265,420
四半期純利益	166,386	255,199
親会社株主に帰属する四半期純利益	166,386	255,199

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	166,386	255,199
四半期包括利益	166,386	255,199
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	166,386	255,199

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自2019年4月1日 至2019年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	廃棄物処分	収集運搬	仲介管理	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,014,233	173,600	39,018	1,226,852	—	1,226,852
セグメント間の内部売上 高又は振替高	43,327	36	39,798	83,161	△83,161	—
計	1,057,560	173,636	78,817	1,310,014	△83,161	1,226,852
セグメント利益	444,903	17,589	32,873	495,367	△148,050	347,316

(注) 1. セグメント利益の調整額△148,050千円は、セグメント間取引消去6,582千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△154,632千円であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自2020年4月1日 至2020年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	廃棄物処分	収集運搬	仲介管理	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,169,298	191,461	41,651	1,402,411	—	1,402,411
セグメント間の内部売上 高又は振替高	44,538	36	53,099	97,673	△97,673	—
計	1,213,836	191,497	94,750	1,500,084	△97,673	1,402,411
セグメント利益	602,171	41,368	44,230	687,770	△164,667	523,103

(注) 1. セグメント利益の調整額△164,667千円は、セグメント間取引消去10,817千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△175,485千円であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。